

立川市のごみの現状

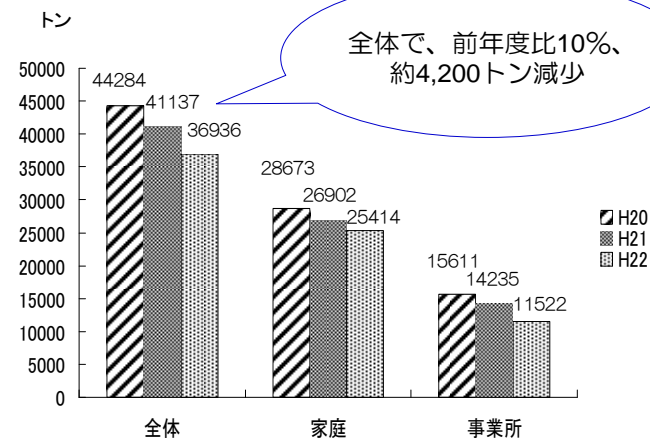
【平成22年度実績】

平成22年4月から平成23年3月までの燃やせるごみの量は、下記のグラフのとおりです。燃やせるごみは前年度比で10%に相当する4,200トンの減少となっています。

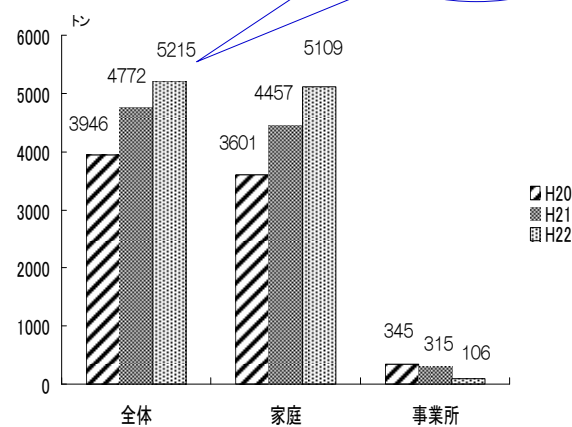
燃やせるごみの減量につながる資源ごみの搬入量は増加傾向にあります。

これは、燃やせるごみの減量と分別にご協力いただいた市民・事業所の皆さんのおかげです。

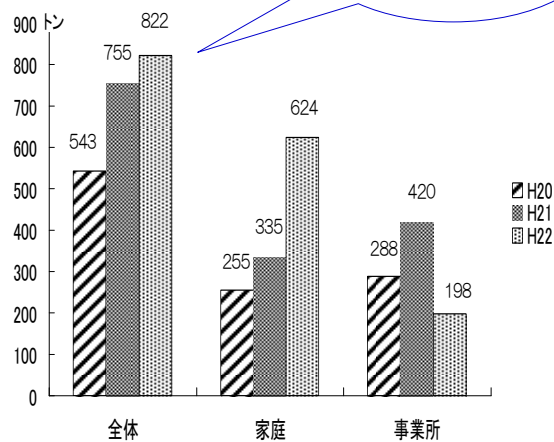
燃やせるごみの搬入実績



紙・布資源の搬入実績



せん定枝の搬入実績



立川市環境下水道部ごみ対策課 ☎531-5518

みんなで減らそう 燃やせるごみ減量50%!

西砂からの風

2011年4・5月号
(第4号)

ごみを減らそう①

持っていますか？マイバッグ！



コンビニやスーパーなどで受け取るレジ袋。

手ぶらで買い物に出かけても困らないし、その後、ごみ袋として利用できたり、便利なアイテムとして当たり前のように手にしていませんか？

いつのまにか無意識にレジ袋を受け取り、無意識に捨てていませんか？

現在、日本では国民一人当たり年間300枚のレジ袋を使用していると言われています。一人ひとりがレジ袋に対する意識を変え、行動することによって、多くのレジ袋を減らすことができます。

レジ袋を減らすことは、ごみを減らすだけではなく、環境保全（地球温暖化防止・燃料の使用抑制）にもつながります。

立川市は、燃やせるごみ5年で50%減量を市の最重要課題として位置づけ、さまざまな施策に取り組んでいます。

「ごみゼロの日」の5月30日から6月5日までを全市一斉マイバッグ週間とし、市内小売店163店舗に協力いただき、マイバッグを持参して買い物をした方に、水切りネットを景品として渡していただきました。

生ごみの70%を占める水分を十分に切れれば、ごみを大幅に減らすことができます。レジ袋を減らすことに加え、生ごみの水切りもしっかりしてもらうことで、ごみの減量につながります。

